

24 高蔵寺ニュータウン冬休み木工ワークショップ

【日 時】 平成 29 年 12 月 25 日（月）

第 1 回：10 時 30 分～11 時 15 分、第 2 回：11 時 30 分～12 時 15 分、

第 3 回：13 時 30 分～14 時 15 分、第 4 回：14 時 30 分～15 時 15 分

【場 所】 愛知県春日井市高蔵寺サンマルシェ

【内 容】 以下のとおり

平成 27 年度より交流が始まっている、春日井市の高蔵寺地区にある商業施設「サンマルシェ」のイベントスペースをお借りして、冬休みの子供達を対象とした木工ワークショップを初開催しました。このイベントは、愛知用水利用地域である高蔵寺地区の子供達に、木曽川を通じた上下流の繋がりや水源地保全の重要性を知っていただくと共に木曽地域の知名度向上を図るために企画しました。

ワークショップは 1 回を 45 分、定員 10 名とし全 4 回開催しました。内容は、前半にスライドを使用し「木曽川を通じた上下流の繋がり」や「水源地の森林が果たす役割」などを子供向けに簡単に説明し、後半に木曽ひのきの間伐材を使用した箸づくり体験を行いました。

当日は参加者数が心配されましたが、地元紙の折り込みチラシで事前周知を行った事もあり、定員 40 名募集（各回 10 名までを 4 回開催）のところ、31 名の皆さんに参加をしていただくことが出来ました。参加された大人の方には、木曽出身（大桑村）の方もいらっしゃり、故郷の話に懐かしいとおっしゃっていました。箸づくりでは削りたてのヒノキの香りに驚かれているお客様もいらっしゃいました。また、スライドを使った説明の際には、参加はされないまでも足を止めて話に耳を傾けてくださるお客様が多くみられました。

所感としまして、普段のイベント出展では時間の制約や来場者数の関係もありこのような形は取れませんが、今回のような形を取れたことで、参加者の皆さんには水源地保全の重要性や森林と水の繋がりについてより理解していただく機会になったのではないかと思います。また、参加者からは次回はいつあるのかといった問い合わせもあり、好評だったのではないかと感じました。反省として、ワークショップ形式にすることで参加者数に限りが出てしまう為、次回開催（3 月）の際にはより多くのお客様に参加してもらおう為の工夫が必要と感じました。

◎ 当日の様子



ブース全景



森林と水の繋がりについて説明①



森林と水の繋がりについて説明②



木曽ヒノキ間伐材を使った箸づくり体験①



木曽ヒノキ間伐材を使った箸づくり体験②



木曽ヒノキ間伐材を使った箸づくり体験③